



日本聖書神学校 学報

Japan Biblical Theological Seminary

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16・☎03-3951-1101～2・Email: jbts@jbts.ac.jp

2024年4月10日

第175号

発行人 神保 望

【後援会献金口座】

郵便振替:

00110-3-6435

加入者名:

学校法人聖經学園

日本聖書神学校

今号の内容

巻頭言	1
第76回卒業生	2
2024年度新入生	2
教職員の異動	2
新任教授挨拶	3
学事報告・個人消息	4

【巻頭言】

パウロがいてバルナバがいた

教授 荒瀬牧彦



伝道者養成校という場に身を置く者の視点で使徒言行録15章36-41節を読むと、大変興味深いものがあります。エルサレムでの使徒会議を終え、パウロとバルナバがアンティオキアに戻ってからのことです。いわゆる第二回の伝道旅行にあたって、パウロの良きパートナーであるバルナバは「マルコと呼ばれるヨハネも連れて行きたい」と願いました。しかし、パウロはそれに反対します。以前パンフィリア州で自分たちから離れ一緒に宣教に行かなかったような者は、連れて行くべきではないという理由です。バルナバは「慰めの子」と呼ばれるような人ですが、この時はパウロの意見に強く抗いました。その結果「激しく意見が衝突」し、バルナバはマルコを連れてキプロス島に向かって船出し、パウロはシラスを伴って陸路シリア州やキリキア州へと向かったのです。一人の若者をめぐり意見衝突から一が二に分裂したのです。

このマルコという人はエルサレムの出身で、母が熱心な信徒でした。その家が「マリアの家」と呼ばれていることから父の不在が想像されています。門のある立派な家の育ちです。コロサイ書には「バルナバのいとこ」とも書いてあります。幼き日から家に出入りする信徒たちの姿を見ながら育ったのでしょう。彼をアンティオキアに連れていったのはバルナバとサウロです。次代を担う優秀な人物として目をつけられていたのです。ところがその彼が最初の伝道旅行で離脱してしまった……。理由は記されていませんが、キリスト者の中で大事に育てられてきた彼には異世界への旅がハード過ぎたのか。あるいは単にわがままだったのか。それとも何か秘めた事情のゆえだったのか。

私が注目するのは、信用失墜行為が過去にあり、おそらくまだその課題を抱えているであろう伝道者候補生をめぐって、二人の指導者がまったく異なる態度を取ったということです。パウロはここから先の伝道の困難を予見

しており、行く先の人々の信頼を損なう可能性のある人物は不適格と判断したのでしょうか。厳しい態度を示す事こそマルコのために必要と思ったかもしれません。他方バルナバは、同行の機会をもう一度与えることによって一人前に育てられると確信したのでしょうか。基準に厳しくあることで信仰者を訓練し教会を守ろうとする立場と、それとは違う見方をもって人に接する立場。どちらの判断も筋が通っています。それゆえパウロは妥協しないし、バルナバも強い覚悟をもってマルコを擁護する。その結果、伝道チームが二分裂したというのは悲劇のようですが、しかし、方針や持ち味の異なる二つのチームが誕生し、それが宣教全体の豊かさをもたらしたとも捉えられるのではないのでしょうか。

伝道者養成過程に関わる神学校や教会においてパウロ的な確固たる態度はとても重要です。そこにおいて安易な妥協を続けているとご都合主義に陥ります。でも、異なるアプローチを取るバルナバ的な存在も非常に重要なのです。人は多面的です。人に託されている福音宣教も多面的です。人は変化します。宣教も変化していきます。唯一の価値観によるある一時点での判断を絶対化することはキリストの道ではありません。宣教の出発点としてのアンティオキア教会はパウロとバルナバの両方を擁し、両チームを宣教に送り出したということを心に留めておきたいと思います。

使徒言行録はこの後パウロの宣教に集中していくので、バルナバの宣教についてはわからないのですが、しかしマルコの名前は書簡に登場し、彼が離脱者に終わらなかったことを私たちは知ります。「私の協力者」としてのマルコ（フィレモン1:24）、また「私の務めのために役に立つ」から「連れて来てください」と請われるマルコ（テモテ二4:11）。パウロとバルナバの両方がいる教会が、彼を育てたのです。

2023年度 第76回卒業生

①卒業論文 ②卒業時の所属教会 ③実習教会 ④赴任教会



柴田 朋子 しばた ともこ

- ①ユルゲン・モルトマンにおける生態系の神学
- ②日本基督教団元住吉教会
- ③日本基督教団六角橋教会
- ④日本基督教団六角橋教会 担任



西川 穂 にしかわ みのる

- ①ガントンにおける似像性の一考察
—内在的三位一体論の優越性を中心に—
- ②日本基督教団千代田教会
- ③日本基督教団千代田教会
- ④日本基督教団新宿西教会 担任



松井直樹 まつい なおき

- ①ボンヘッファーにおけるルターの解釈について
- ②日本基督教団三鷹教会
- ③日本基督教団小石川白山教会
- ④日本基督教団祖師谷教会 担任



教職員の異動

就任

《教員》

細井茂徳 (教授)	2024年4月1日
水谷 勤 (教授)	2024年4月1日
勝本正實 (講師)	2024年4月1日
古谷正仁 (講師)	2024年4月1日

退任

《教員》

古谷正仁 (教授)	2024年3月31日
上村敏文 (講師)	2024年3月31日
江口再起 (講師)	2024年3月31日
戒能信生 (講師)	2024年3月31日
中村邦介 (講師)	2024年3月31日
細井茂徳 (講師)	2024年3月31日
水谷 勤 (講師)	2024年3月31日

2024年度 新入生一覧

【正科生】

- 1. 大島泰江 日本基督教団千葉教会
- 2. 西 宏海 日本基督教団宇部緑橋教会

【聴講生】

- 1. 五十嵐直美 日本ホーリネス教団由木キリスト教会
- 2. 喜田川ルツ子 日本ナザレン教団横浜教会
- 3. 齋藤健一郎 日本基督教団愛泉教会
- 4. 野本 純 日本基督教団蒔田教会
- 5. 林 信一 日本基督教団横浜港南台教会
- 6. 原田裕子 日本基督教団信濃町教会
- 7. 松脇達朗 日本キリスト教会蒲田御園教会
- 8. 丸山 仁 日本基督教団武蔵野教会
- 9. 目黒昭彦 日本基督教団大泉教会

キリスト教研究所紀要『聖書と神学』投稿募集

『聖書と神学』第35号は、2024年10月末に発行予定です。今回「特集」は組みません。査読を経て掲載する a. 論文、b. 研究ノート、c. 書評、および、査読のない宣教報告・神学黙想の投稿をお待ちします。締切は5月20日。投稿要領を institute@jbts.ac.jp までご請求ください。

投稿資格を有するのは当研究所の所員・会員です。卒業生はどなたも会員となれます。卒業生でない方は会員2名の推薦を得て入会となります。神学校総務部にお申込みください。年会費1000円で、会員には紀要を1部お送りします。

(所長 柳下明子)

新任教授就任挨拶



教授 細井茂徳

この度、日本聖書神学校の教授会にお招きいただき、心より感謝致します。当神学校は28年前に私自身卒業した学び舎であり、常々心に留め続けておりました日々の祈りの一つでもありましたので、古谷正仁教授、神保望校長、両先生よりお話を頂いた際には、(恐縮しながらも)喜んでお受けした次第です。思い返せば、これまで本神学校よりたくさんの恩恵を賜りました。先達の先生方はもとより、卒業生・同窓

会などを通して、数々の恵みを頂きましたことは、この上ない光栄であり喜びとする処です。もちろん背後に主が常におられ、支え導いてくださいましたことは言うまでもありません。それらに少しでも御恩返しする事が出来るよう努めさせて頂きたいと願いますし、そのような機会を主が与えてくださったことと理解しております。

現在、私は神奈川県横浜市保土ヶ谷区にあります上星川教会で主任担任教師をする傍ら、これまでも講師として本神学教育に携わらせていただいております。この度教授会の一員に加えていただく上で、改めて本学教育指針の「福音主義キリスト教の立場に立ち、聖書に基づき、深い信仰と誠実な神学研鑽と他者に共感できる感性を備えた、キリスト教福音宣教への召命に応えようとする伝道者を養成することを目的とする」との精神を強く心に

刻み、力を尽くして神学教育指導、神学校づくりに精進してまいりたいと存じます。今、進む実社会の只中で「神学校に求められていることとは何か」を考えると共に、教会との関係・つながり、さらには周りを取り巻く日本社会をよりよくしていく為には何が必要なかを思索しつつ、現場で起こる出来事に対応できるよう施策してまいりたいと思います。主の働きをなさんとする教会を様々な面で支える神学校の大事な働きを、微力ながら主に仕えられる喜びをもって当たらせて頂きます。

先達の教職員・卒業された先生方が残してゆかれた伝統・理念、そして信仰を受け継ぎ、現教員・職員の皆さんからご教示いただきながら、未熟ではありますが自分なりに本神学校を一層躍進させたいと願っております。これからどうぞ宜しくお願い致します。



教授 水谷 勤

今年度より、教授会メンバーの一員に加えていただきました水谷勤と申します。これまで教会関係の多くの皆様に支えられ、祈られてきたことを心より感謝しつつ、ご挨拶申し上げます。私は、本神学校を2005年3月に卒業し(57期)、その後、教団・東京教区南支区の田園調布教会、千葉支区東葛分区分の勝田台教会にて奉仕して参りました。その他海外の大学、神学校、研究所で学ぶ機会を与えられ、その生活は合わせて六年ほどになります。2016

年からは、講師として新約関連の授業を担当させていただいています。クラスで共に新約聖書の時代背景や初期キリスト教の信仰をたどる学びは、私自身にとっては刺激と興味の尽きないものです。そして、神学生の皆さんが将来教会に遣わされる働きの中で生かされることを常に願っています。

また、これまでの講師としての八年間を振り返ると、毎年のように反省することばかりです。ちょうど説教を終えた月曜日の牧師のように、どこまでいっても、限りのある人の業を用いて宣教を進められる主に委ねる他ないのですが、その営みが全体として、やがて大きな木となり鳥が戯れるほどに実を結ぶということは、決して都合の良い解釈ではないと思います。そのことを、現実の社会と教会、そして神学校において地道な働きを為された多くの敬愛する先達の、生きた信仰と歩みから学ばされてきました。そこに連なる

者としての職務を受け、主の大きな宣教の業に加わる重みと意味を改めて噛み締めています。

そして、目に見える形で、種蒔きの労苦と喜びを、共にする場としての神学校が与えられていることを改めて幸いに思います。目の前にある課題に向き合いつつ、そこに埋没することなくより大きな視点を与えられ、特に世界やアジアの中における本神学校の位置や役割を見据えていきたいと願っています。また個人的には、家族のケアラーとしての生活をしています。社会や生活の現実の中で福音に共に与ることを通して、ちょうど水の輪が広がるように御業が進められていく、その働きの一端を担うことができますように、この学び舎を通して生きて働かれる主に祈りつつ、皆様どうぞよろしく願い申し上げます。

Diary 学事報告

2023年9月～2024年3月

- 9月8日 教授会(第6回)
- 9月8日 後期始業礼拝
- 9月8日 夏期伝道実習報告会
- 9月10日 学報(173号)発行
- 9月10日後援会通信(75号)発行
- 9月11日 後期授業開始
- 9月12日 カリキュラム対話集会
- 9月12日 同窓会常任役員会
- 9月20日 Mission21(アジア地区代表者)来訪
- 9月25日 理事会(第287回)
- 10月4日 オープンキャンパス、参加者3名
- 10月8日 神学校日
- 10月9日 ゲルンスハイムデュオコンサート(神学校後援)
- 10月13日 教授会(第7回)
- 10月23日 後援会役員会
- 10月25日 神奈川教区青年委員会来訪
- 10月27～28日・全校修養会、テーマ「BC級戦犯にされた神学生一中田善秋と宣撫工作」、講師：小塩海平先生、参加者24名
- 10月31日 理事会(第288回)
- 11月1日 臨時教授会(第8回)

- 11月6日 図書館運用委員会
- 11月10日 秋期入学試験(合格者：正科生1名)
- 11月10日 教授会(第9回)
- 11月13～17日 授業体験週間、参加者2名
- 11月15日 臨時教授会(第10回)
- 11月20日 教団教師委員会との会合
- 11月20日 同窓会常任役員会
- 11月27日 評議員会(第225回)
- 11月27日 理事会(第289回)
- 12月7日 学生自治会ホームルーム
- 12月8日 教授会(第11回)
- 12月8日 クリスマス礼拝(説教「さあ、ベツレヘムへ行こう」宇田真牧師(岩村田教会、東海教区総会議長)、参加者90名)
- 12月15日 学報(174号)発行
- 12月18日 後期補講日
- 1月16～17日 後期補講日
- 1月23～24日 後期試験日
- 1月25日 現場実習報告会
- 1月29日 理事会(第290回)
- 1月29日 教授会(第12回)
- 1月29日 卒業論文講評会
- 1月30日 卒業論文発表会
- 1月30日 同窓会常任役員会
- 1月31日、2月1,2,6日 日本キリスト

- 教史特講(集中講義)
- 2月5日 後援会役員会
- 2月5日 献身志願者の集い準備会
- 2月5日 図書館運用委員会
- 2月6日 4年生と同窓会役員との懇談会
- 2月9日 ハラスメント防止学習会、参加者26名
- 2月16日 春期入学試験(合格者：聴講生9名)
- 2月16日 教授会(第13回)
- 2月20日 学生自治会学術講演会、講師関野和寛先生
- 2月26日 学生自治会総会
- 2月28日 理事会(第291回)
- 3月4日 卒業礼拝、「説教生きるようになる」阿佐光也先生(日本盲人キリスト教伝道協議会副議長・40期卒業生)、卒業生3名、参加者87名
- 3月4日 教授会(第14回)
- 3月8日 追加入学試験(合格者：正科生1名)、臨時教授会(第15回)、教授会ハラスメント防止研修会
- 3月11日 献身志願者の集い準備会
- 3月16日 寮リトリート 聖公会神学院訪問
- 3月22日 同窓会常任役員会
- 3月25日 評議員会(第226回)

個人消息

■ 神保望 校長

- 9月19日 日本基督教団東京教区常置委員会に出席(年複数回)
- 10月7～8日 日本基督教団横浜岡村教会特別伝道集会で講演・礼拝説教
- 10月16日 同窓会千葉支部会に出席
- 10月22日 日本基督教団牛久教会特別伝道礼拝で説教
- 10月29日 日本基督教団須賀川教会礼拝で説教
- 11月2日 日本基督教団東京教区総会議事録精査委員会に出席
- 11月8日 メーヤー宣教師御家族記念墓前礼拝(清水ヶ丘教会・目白教会合同)に出席
- 11月9日 日本基督教団東京教区総会議事録精査委員会に出席
- 11月12日 日本基督教団にじのいえ信愛荘礼拝で説教(年複数回)
- 11月19日 日本基督教団神奈川教会創立148周年記念礼拝で説教
- 1月20日 日本基督教団神奈川教区伝道フォーラムで講演
- 1月22日 日本基督教団宣教研究所委員会に出席(年複数回)
- 2月4日 日本基督教団武蔵野教会礼拝で説教・聖餐式司式
- 2月5日 ヘンリ・ナウエン著『イエスの示す道 受難節の黙想』書評(キリスト新聞)執筆
- 2月6日 日本基督教団『伝道推進ニュースレター24号』巻頭言執筆
- 2月18日 日本基督教団市川教会牧師就任式に出席(祝辞)
- 3月5日 日本基督教団宣教方策会議に出席
- 3月19日 NCC 教育部主催エキュメニズム研修会に出席
- 校長として理事会、評議員会、教授会、校

務会、人事委員会、図書館運用委員会、後援会役員会、献身志願者準備委員会に出席
・その他適宜面接・人事相談・学生面接を担当して教務執行

■ 荒瀬牧彦 教授／教務部長代行

- 9月18日 北信分区教会音楽の集い 講演・礼拝司式 於軽井沢追分教会
- 10月22日 仙台宮城野教会礼拝説教
- 10月23～24日 同窓会東北支部研修会
- 10月29日 カンバーランド長老教会(CPC) さがみ野教会礼拝説教
- 11月11日 上北台こひつじ保育園50周年記念礼拝説教
- 11月18日 日本賛美歌学会大会 実行委員長 於青山学院大学
- 1月8日 千葉支区内房分区教職信徒研修会講演 於西千葉教会
- 2月7～9日 Calvin Symposium on Worship パネリスト 於カルヴァン大学(米国 ミシガン州グランドラピッズ)
- 2月27日 ほうやちよう保育園研修会
- 3月2日 社会福祉法人ナオミの会評議員会
- CPC 田園教会牧師の執務。CPC 教職委員長・礼拝書委員・アジア宣教委員、JBTS 教務部長代行・理事・評議員・寮監、御茶ノ水スタンディング呼びかけ人、賛美歌工房代表としての活動
- 執筆：『礼拝と音楽』199号、200号「主日礼拝に備えて」(賛美歌)
- 小林祥人 教授
- 12月11～12日 同窓会関東支部会研修会にて講演
- 日本聖書神学校同窓会常任役員としての執務執行
- 日本基督教団取手伝道所牧師としての執務執行
- 菅原裕治 教授
- 1月6日 東京教区執事按手式出席(推薦者)

・日本聖書神学校図書館長、評議員としての執務執行

- ・東京聖三一教会牧師としての執務執行
- ・日本聖公会管区共通聖職試験委員会委員長を継続(2023年度春期試験、秋期試験を監修)
- ・日本聖公会東京教区聖職試験委員会委員長を継続(2023年度執事試験を監修)
- ・『信徒の友』に「ギリシア語で知る聖書」を連載

■ 古谷正仁 教授

- 9月19日 日本水上学園理事会
- 11月4日 教区宣教方策会議
- 11月16日 川崎福音幼稚園理事会
- 11月28日 横浜英和評議員会、教区ハラスメント問題で弁護士との面談
- 1月20日 教区伝道フォーラム
- 1月24日 川崎福音幼稚園理事会
- 1月27日 日本水上学園理事会
- 2月5日～6日 教団常議員会陪席
- 2月13日 神奈川同宗連委員会
- 2月24日 神奈川教区総会
- 3月5日 教団宣教方策会議
- 日本聖書神学校人事委員としての執務執行
- 日本基督教団蒔田教会牧師としての教務遂行
- 神奈川教区総会議長としての執務執行
- 社会福祉法人日本水上学園理事、学校法人横浜英和学園評議員、学校法人川崎福音幼稚園理事、学校法人元住吉こぼと幼稚園理事としての業務遂行
- 丘光会聖研(横浜英和中高卒業生の聖研指導、毎月第2水曜日)
- 柳下明子 教授
- 11月20～21日 同窓会東海支部研修会出席
- 『信徒の友』10月号「主日課解説」、『THE YMCA』12月号巻頭言を執筆
- 日本基督教団番町教会主任担任教師、日本聖書神学校評議員としての執務執行